VOICES みんなの声

2015(平成 27)年 11 月 1 日発行　25 号（通常隔月 25 日発行）

社会福祉法人 サンフレンズ 法人事務局地域福祉推進担当広報
〒167-0023 東京都杉並区上井草 3-33-10
☎ 03-3394-9833 Fax 03-3394-9834
メール hozumi-kaneko@3friends.or.jp
ホームページ http://www.3friends.or.jp/

地域から愛が届く

【写真左】10 月 20 日（火）、応急給水訓練のひとコマ。都立農芸高等学校の生徒さんが東京都水道局上井草給水所で水を汲み、給水袋を背負って上井草園まで届けてくださいました。エントランスで受け取ったのは、袋に入った水と学生さんたちの溢れる愛。【写真右】10 月 26 日（月）、今年も駅前の村野様が、上井草園に菊の花を届けてくださいました。約 1 か月の間、水やりなど、花のお世話もしてくださいます。ありがとうございます。

美味しい話をしませんか？～上井草ボランティア会食懇談会～

サンフレンズ上井草で活動されているボランティアさんを対象に、会食懇談会を開催します。ランチを召しあがっていただきながら、日頃の活動の報告やご意見をいただき、今後のボランティア活動推進に役立てたいと思います。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

日時：12 月 7 日(月)、8 日(火)、9 日(水)、10 日(木)、各日とも正午から 13 時 15 分まで

場所：サンフレンズ上井草・機能訓練室

※お食事の用意の都合上、11 月 30 日までに出席日をお知らせください。

お申込み・お問合せ：
サンフレンズ地域福祉推進担当 金子　03-3394-9833

物品ご寄付のお願い　毛糸(未使用)、和(着物)生地、木綿夏糸、フェルト

上井草ふれあいの家や SOS サロンの編物クラブや手工芸クラブで使います。

連載 この人・この曲 ～第 23 回 桑野文子さん『ラ・クンパルシータ』～

上井草ふれあいの家での演奏（中央でバイオリンを弾くのが桑野さん）
次回は 12 月 16 日（水）にご来訪予定です。

今号のゲストは、隔月、上井草ふれあいの家で楽しい演奏を聴かせてくださっている**『アンサンブル・フェニックス』**のリーダー、**桑野文子（くわのふみこ）さん**です。

『アンサンブル・フェニックス』は、今から 35 年前、井荻中学校の先生の歓送迎会で、父母会有志として演奏したのが結成のきっかけ。「主婦が家に閉じこもらずに、何か楽しみながら社会に役立つ事はないものか？」という桑野さんの呼びかけに、PTA の会合で知り合った音楽好きが集まりました。しかし、音楽を専門に習ったのは 2 人だけで、あとは趣味で楽をやっている人たち。そこで、桑野さんがこのメンバーでも演奏できるよう、たとえばキーボードを右手だけで弾けるように易しく編曲して楽譜を書くことになり、それが今まで続いています。

演奏活動の場は主に老人ホーム、学校の開校記念日、地域の敬老会、病院の文化祭など。いつも心がけているのは、演奏する側と聴き手のコミュニケーションをうまく図るということです。そのために、音楽を「聴かせる」のではなく、「聴き手とともに楽しむ」という姿勢を貫いてきました。打楽器を配って一緒に鳴らしていただくなど、いつも音楽を通じて聴き手と一体になることを目指しています。だから、演奏だけでなく曲間のお喋りが面白く、そしてタンゴから唱歌、流行歌まで、レパートリーが幅広い（何でもアリ！）のがこのバンドの魅力です。

結成から 5 年目、今から 30 年前の新聞記事『世界の日系老人に「日本の歌」を』より。
遠く故郷をしのぶカナダ在住の日系老人に「日本の四季の歌」をテープに吹き込み贈ったことが大変喜ばれ、話題になりました。

『ラ・クンパルシータ（La Cumparsita）』 この曲を You Tube で聴いてみよう→http://www.youtube.com/

『ラ・クンパルシータ』は、ウルグアイの**ヘラルド・ロドリゲス**が作曲した、アルゼンチン・タンゴを代表する楽曲。タンゴ楽団のレコードやコンサートでは必ずと言ってよいほど演奏され、「24 時間 365 日、常に世界のどこかで必ず演奏されている」との伝説もあるほど最も有名な、タンゴの世界的スタンダード・ナンバーです。

曲名は、スペイン語で「小さな行列」という意味。もともとはロドリゲスが 17 歳の 1914 年に、行進曲として作曲したものでしたが、アルゼンチンの著名なタンゴ楽団、ロベルト・フィルポ楽団が、中間部を付け加えて再構成し、モンテヴィデオのカフェ「ラ・ヒラルダ」で演奏されたのが最初と言われています。

演奏の最終部で第 1 主題の変奏を聴かせるのが各楽団の腕の見せ所であり、どの楽団でも食指が動くものらしく、多種多様な演奏を聴くことができます。原詩はごく短く、歌詞をつけないで演奏される場合が多いですが、作曲者のヘラルド・ロドリゲスによる歌詞の他、後にアルゼンチン人のパスクアル・コントゥルシとエンリケ・マローニの共作とされる歌詞があり、後者のほうがよく聴かれます。このように、作曲や誕生地はウルグアイであり、第二の国歌とされるほど親しまれていますが、アルゼンチン・タンゴの代表曲でもあり、最も普及した歌詞もアルゼンチン人によるものであるため、しばしば双方によって自国の音楽であると主張されています。

日本においても、1980 年と 1988 年の NHK 紅白歌合戦で、**菅原洋一**によって歌われたことがあります。

ホームページ「ウィキペディア」等から一部引用させていただきました。

サンフレンズフェスタ　SFF2015 報告

10 月 5 日から 12 日にかけて開催した『サンフレンズフェスタ SFF2015』が、無事終了しました。皆様の温かいご協力に心より感謝いたします。

①10/10(土)『魅惑のカルテット』協賛：JA セレモニーセンターものしり畑成田東　②10/11(日)『声楽スペシャル・デイ』協賛：杉並区民オペラ　③10/12(月)午前、荻窪中学校軽音楽部ガールズバンド　④～⑥10/12(月)午後、5 年連続の大トリは地元の雄・おやじバンド SIPPS とゲストのフラガールズ

●困ったときの SOS 地域で恩送り事業支援コンサート募金：30,010 円　総来場者：のべ 300 人

●ボランティア編物作品売上：30,140 円　●SOS 作品売上：47,810 円

活動内容は人さまざま

あなたにあったボランティア活動をさがします

サンフレンズでボランティア体験してみませんか？

利用者さん（おとしよりの皆さん）と笑顔のキャッチボール

笑顔は、心の潤いの象徴です。
ボランティアさんの笑顔は、利用者さんの笑顔を呼び、
利用者さんの笑顔は、ボランティアさんの笑顔を呼びます。
あなたも「笑顔のキャッチボール」を楽しんでみませんか？

サンフレンズでは、ボランティア活動を大切にしています

サンフレンズは、杉並区内で複数の施設・事業を運営しています。
お近くにお住まいの皆さん、近隣の学校等、地域の皆さんにとって、
「お気軽に訪ねていただける施設」でありたいと考えています。
同時に、利用者さんにも、施設の中だけでなく、
地域の皆さんとのふれあいを持っていただきたいと考えています。
こうしたことから、サンフレンズではボランティア活動を大切にしています。

たとえばこんな活動です

- **お話し相手**
- **トランプ、将棋、囲碁、マージャンなどのゲームのお相手**
- **プログラム活動（音楽、俳句、詩吟、体操、調理、絵手紙、折り紙、貼り絵、手工芸、手芸、書道、茶道、生花、ダンス等）のご指導やお手伝いをしていただける方**
- **お食事、おやつ、お茶などの配膳をお手伝いしていただける方**
- **近所へのお散歩などをお手伝いしていただける方**
- **音楽や演芸などを披露していただける方**
- **施設行事、イベントへの参加**
- **小動物の世話**
- **高齢者等の日常生活上のちょっとした困りごとのお手伝いをしていただける方**
- **上記の他にもボランティアさんの時間、特技、性格に合わせた活動を紹介します。「お話しが苦手の人」や「人と接するのが苦手な人」向けの活動もあります。**

グループでの参加もアリ！

ボランティアさんの笑顔は、利用者さんの笑顔を呼び、
利用者さんの笑顔が、ボランティアさんの笑顔を呼ぶ。

★★★お問合せ★★★

まずはご連絡ください。活動前にご相談をさせていただきます。上記以外の活動内容についても、気軽にご相談ください。

03-3394-9833

法人事務局地域福祉推進担当
ボランティアコーディネーター：金子穂純